

抗議文

原子力空母ジョージ・ワシントンの横須賀入港に抗議し、原子力空母の横須賀母港撤回を強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 スコット・スウィフト中将 殿
在日米海軍司令官 ダン・クロイド少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 ディビット・グレニスター大佐 殿

2013年8月23日

原水爆禁止神奈川県協議会
神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

8月23日午前、米原子力空母ジョージ・ワシントン(GW)が横須賀基地に入港した。原子力艦船の入港は今年9回目で、通算875回となった。

6月26日に横須賀基地を出港し、西太平洋地域で軍事的緊張を高める米韓軍事訓練を行ったり、艦載機の実弾訓練などをおこなっていたと言われている。これらの軍事行動は、アジアの緊張を高め東アジアの平和と安全にとって害悪をもたらしている。そして、今回の横須賀基地への入港である。まさに、横須賀基地を、米軍の軍事行動の拠点・母港とするものである。このような平和と安全を脅かす原子力空母GWの入港に強く抗議する。

首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まっている今日、巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。我々はこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍はこれに答えず、詳細な情報の開示を拒否する態度をとっている。このような中での横須賀基地への入港であり、原子力災害から県民の命と安全を守る立場からも断じて認められない。

多くの県民は、改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを強く求めている。そして、何よりも危険な原子力空母GWが横須賀を母港としていることに強く反対する。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本に、戦争のための軍艦が、入出港・滞在し実質的な母港としている。横須賀は原子力艦船の母港でない。このような日本国憲法を踏みにじり、アジアの平和と安全を脅かす行動に強く抗議し、ただちに横須賀から出て行くことを要求する。

原子力空母の横須賀入港、母港化はただちにやめることを重ねて要求する。

以上